

Google™ Apps

最新情報

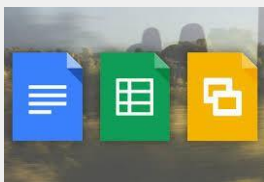


2014 年 12 月のまとめ



注目のリリース: カレンダー監査

[Google カレンダー監査を使用して簡単にトラブルシューティング](#)



協力して作業する

[Gmail デスクトップ添付ファイルの Office ファイル用の編集アイコン](#)

[追加の Microsoft® Office 形式の変換サポート](#)

[Google ドライブとドキュメントでの共有の強化](#)

[Google ドキュメント エディタで ODF などのファイル形式を完全サポート](#)



どこにいても作業する

[ドキュメント エディタ iOS アプリでの表および図形編集機能の強化](#)

[ドキュメント エディタ Android アプリでの行間の設定、図形編集など](#)

[Android 端末、iOS 端末向け Google ドライブアプリの検索機能とコンテンツの強化](#)



シンプルな使い心地

[Google ドキュメントにおける表のセルの結合](#)

[Google ドキュメントで画像の色やフィルタを調整](#)

[Google スライドのスライド番号](#)

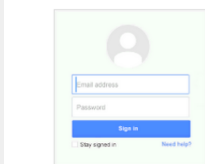
[Google スプレッドシートの新しいスパークライン オプション](#)

[Gmail の新しい UI 言語: アイルランド語](#)

[Gmail の添付ファイルとして Google ドライブ ファイルを共有](#)

[Google ハングアウトのカスタム ステータス メッセージ](#)

[Google ドライブから Gmail 署名に画像を追加](#)



ビジネス対応

[カレンダー API v3 の容量が 10 倍に](#)

[iOS 同期用の新しいレポート、ポリシーなど](#)

[組織部門用 Google+ プロフィールの管理プロビジョニング](#)



Google Apps についての詳細

[YouTube の Apps Show](#)

[Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画](#)

より良いニュースレターをお届けできるよう、[ご意見](#)をお聞かせください。

-Google Apps チーム
2015 年 1 月 5 日

注目のリリース: カレンダーの監査

カレンダー監査を使用して簡単にトラブルシューティング

リリース日: 2014 年 12 月 11 日



組織で共有

最新情報: 予定の削除や更新、予約された会議室の削除、招待者リストに対する変更など、カレンダーの予定に対する変更が、どのように発生したかがはっきりしないことがあります。今回のリリースでは、管理者が[管理レポート](#)の新しいカレンダー監査機能を使用して、Google カレンダー内で特定のユーザー操作の詳細を確認できるようになりました。

メイン カレンダーの変更 (カレンダーの削除、追加など)、予定 (説明、時間、名前、ゲスト一覧など) に対する変更のほか、通知やリマインダーへの変更を表示できます。

←	☑ Reports ▾	↓	🔍	☰
Highlights	ACTIVITY NAME	ACTIVITY DESCRIPTION	USER	FILTERS
Aggregate reports	Event modified	Ravi Kumar changed the start time of Bay area customer meeting	Ravi Kun	Activity name
Security	Event modified	Chris Walsh modified Bay area customer meeting	Chris Wa	Select one
Apps usage activity	Event modified	Ravi Kumar modified Bay area customer meeting	Ravi Kun	User name
Account activity	Event guest added	Chris Walsh invited chriswalsh@admin.altostrat.com to Bay area customer meeting	Chris Wa	user@mybusiness.c
▼ Audit	Event guest response changed	Chris Walsh changed the response of guest ravi@admin.altostrat.com for the event Bay area customer meeting to accepted	Chris Wa	Calendar id
Admin	Event guest added	Chris Walsh invited swilson@admin.altostrat.com to Bay area customer meeting	Chris Wa	calendar id
Login	Event title modified	Ravi Kumar changed the title of Bay area meeting to Bay area customer meeting	Ravi Kun	Event title
Calendar	Event guest added	Ravi Kumar invited chriswalsh@admin.altostrat.com to Bay area customer meeting	Ravi Kun	event title
Token	Event guest added	Ravi Kumar invited swilson@admin.altostrat.com to Bay area customer meeting	Ravi Kun	Event id
Email Log Search	Event guest response changed	Ravi Kumar changed the response of guest ravi@admin.altostrat.com for the event Bay area customer meeting to accepted	Ravi Kun	event id
Manage alerts	Event created	Ravi Kumar created a new event Bay area meeting	Ravi Kun	API Kind
	Event deleted	Peter Isemann deleted the event Test 2	Peter Ise	Select one
		Peter Isemann changed the response of guest isemann@google.com for the event Test 2 to		

使い方: 管理コンソールでカレンダー監査にアクセスするには、[レポート] > [監査] > [カレンダー] をクリックします。
カレンダー監査は、[カレンダー アクティビティのレポート API](#) から使用することもできます。

注: この機能は、Google Apps for Government をご利用のお客様にはご使用いただけません

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

協力して作業する

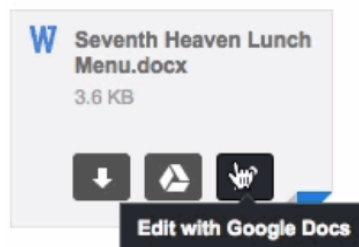
Gmail デSKTOP 添付ファイルの Office ファイル用の編集アイコン

リリース日: 2014 年 12 月 2 日



組織で共有

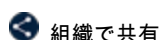
新機能: Gmail では、添付ファイルカードの鉛筆アイコンを 1 回クリックすることで、添付ファイルとして送信されたすべての Office ファイルを Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドに変換できます。その後、ドキュメントの編集を行う際には、管理、任意の場所からのアクセス、すべての変更履歴など、1 つのドキュメントのメリットを最大限に活用できます。



詳細については、[ドライブに関する Google+ のお知らせ](#)および[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

追加の Microsoft® Office 形式の変換サポート

リリース日: 2014 年 12 月 2 日



組織で共有

新機能: Office ファイルを定期的に使用しているユーザーもいます。そこで、Google では、15 の新しい Office ファイル形式を対象に、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドへの変換サポートを追加しました。



サポートされている新しい形式は次のとおりです。

- Google ドキュメントへの dot、dotx、dotm*、docm* の変換
- Google スプレッドシートへの xlt、xltx、xltm*、xlsm* の変換
- Google スライドへの pot、potx、potm*、pptm*、pps、ppsx、ppsm* の変換

Office ドキュメントのグラフ、SmartArt、結合された表セルの変換サポートも強化されました。

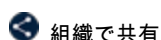
使い方: 変換後のファイルは、オンラインで編集、共同編集、共有できます。ファイルを変換しても、元のファイルは変更されず、Google ドライブからアクセスできます。

*注: マクロについては、変換時にマクロファイル形式から削除されます

詳細については、[ドライブに関する Google+ のお知らせ](#)および[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google ドライブとドキュメントでの共有の強化

リリース日: 2014 年 12 月 11 日




組織で共有

新機能: Google ドライブと Google ドキュメントのエディタでの作業をさらにに行いやすくするために、新しい機能が 2 つ追加されました。



共有ダイアログにメールアドレスを追加すると、追加した人すべてのプロフィール画像が表示されます。この機能は、招待している連絡先が適切かどうかを確認する必要がある場合、似たような名前の人と作業しているときに特に便利です。



また、いつも共有先として指定しているユーザーを簡単に追加することもできます。2 人の共同編集者を追加すると、よくメールを送信する、または共有先として指定するユーザーが候補として表示されます。

Share with others

Get shareable link 



People

 Kevin Conway 

 Alison Connors 

Add more people...

Add: [Carol Benes](#) [Elaine Burnett](#) [George Radner](#)

 Can edit 

Send

Cancel

Advanced

使い方: 共有ダイアログを開き、共有先として指定するユーザーの名前を入力します。そのユーザーのプロフィール画像が表示されます。また、最初の 2 人を追加すると、追加の共同編集者が自動的に共有先候補として表示されます。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。




Google ドキュメント エディタで ODF ファイル形式を完全サポート

リリース日: 2014 年 12 月 16 日



組織で共有

新機能: 3 つの主要 ODF (オープン) ファイル形式である .odt ファイル (ドキュメント用)、.ods ファイル (スプレッドシート用)、.odp ファイル (プレゼンテーション用) をすべて読み込めるようになりました。

Name ↑	Owner
 Capuchin Monkeys and Me.odp	me
 Justine's Allowance Budget.ods	me
 Sleeping Patterns of Lemurs.odt	me

使い方: Google ドライブで ODF ファイルを右クリックし、[開く] を選択して、[Google ドキュメント]、[Google スプレッドシート]、[Google スライド] のいずれかを選択します。

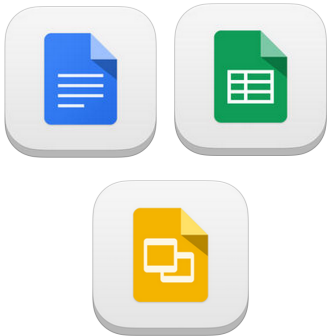
詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

ドキュメント エディタ iOS アプリでの表および図形編集機能の強化

リリース日: 2014 年 12 月 8 日  組織で共有

新機能: iOS 端末向け Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドの各アプリの新バージョンを App Store で入手できるようになりました。新しい機能は次のとおりです。

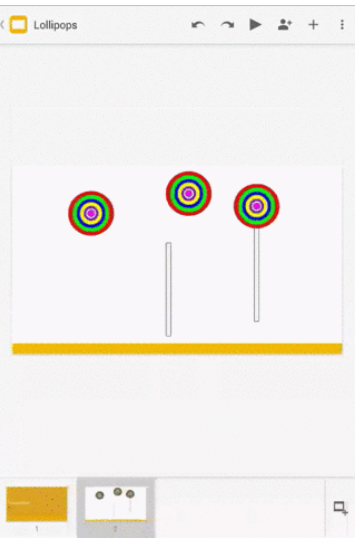
- ドキュメント アプリで表のテキストの表示および編集をサポート
- スライドアプリでのテキスト ボックス、図形、線の挿入、移動、サイズ変更、回転機能
- 高度な iPhone 6 / 6+ サポート (すべてのアプリ)
- 一般的な修正プログラムとパフォーマンスの向上 (すべてのアプリ)



Google [ドキュメント](#)、[スプレッドシート](#)、[スライド](#)の各アプリは App Store で入手できます。

ドキュメント エディタ Android アプリでの行間の設定、図形編集など

リリース日: 2014 年 12 月 15 日  組織で共有




新機能: Android 端末向け Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドの各アプリの新バージョンを Google Play で入手できるようになりました。

ドキュメント アプリには行間を設定する機能が用意されており、行間 1、行間 2 を選択したり、さらに細かく行間を設定したりできます。また、スプレッドシート アプリにはナビゲーションを迅速に行えるようにスクロールバーが追加されたほか、スライドアプリでは、テキスト ボックス、図形、線を挿入、移動、サイズ変更、回転できます。

3 つのアプリすべてで Office ファイルを処理しやすくなり、ファイルの作成や更新がさらに容易になりました。また、高度なユーザー補助機能オプションも追加されています。

Google [ドキュメント](#)、[スプレッドシート](#)、[スライド](#)の各アプリは Google Play で入手できます。

Android 端末、iOS 端末向け Google ドライブアプリの検索機能とコンテンツの強化

リリース日: 2014 年 12 月 17 日  組織で共有

新機能: Android および iOS 端末向け Google ドライブアプリに便利な新機能がいくつか追加されています。

Android では、Google アプリから Google ドライブでファイルを検索できます。たとえば、「ドライブでチーム ミーティング ノートを検索」と言うだけで、Google ドライブでファイルを検索できます。ドライブアプリを開いて検索クエリを入力する必要はありません。



iPhone と iPad では、他の iOS アプリからコンテンツをアップロードすることで、Google ドライブでさらに多くのコンテンツを取得できます。

[Android](#) 端末向けおよび [iOS](#) 端末向けドライブアプリを入手できます。

シンプルな使い心地

Google ドキュメントにおける表のセルの結合

リリース日: 2014 年 12 月 1 日



組織で共有

新機能: Google ドキュメントの表のセルを結合できるようになりました。表内のセルを複数の行や列にわたって結合できます。Word ドキュメントに含まれる表の結合セルも同様に読み込みます。

I														

使い方: 表のセルを結合するには、表内で結合するセルをハイライト表示し、[表] メニューから [セルの結合] を選択します (または右クリックして、[セルの結合] を選択します) 。

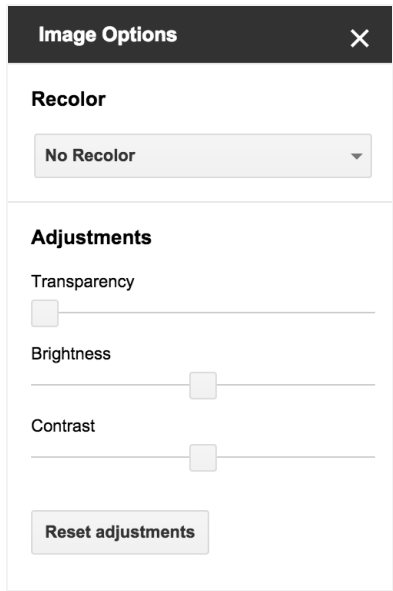
詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google ドキュメントで画像の色やフィルタを調整

リリース日: 2014 年 12 月 1 日



組織で共有



新機能: Google スライド向けの[最近のリリース](#)と同様に、ウェブ上の Google ドキュメントで画像の色、透明度、明るさ、コントラストを調整できるようになりました。

使い方: この機能を使用するには、Google ドキュメントで画像を選択し、ツールバーの [画像オプション] ボタンをクリックします (画像を右クリックするか [表示形式] メニューを使用して、[画像オプション] を選択することもできます) 。

[色を変更] では、ドキュメントに合わせて画像の色を変更できます。

[調整] では、画像の透明度、明るさ、コントラストを変更できます。

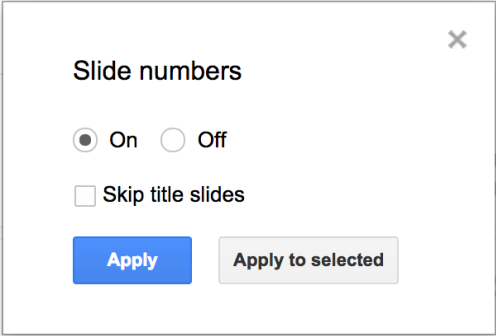
詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google スライドのスライド番号

リリース日: 2014 年 12 月 1 日  組織で共有


新機能: Google スライドでプレゼンテーションにスライド番号を追加できるようになりました。プレゼンターとオーディエンスの両方にとって、スライドを参照する際に便利です。

使い方: スライド番号を追加するには、ツールバーの [挿入] > [スライド番号] を選択します。すべてのスライドまたは選択したスライドのどちらに追加するかを選択できます。タイトル スライドをスキップするように選択することもできます。

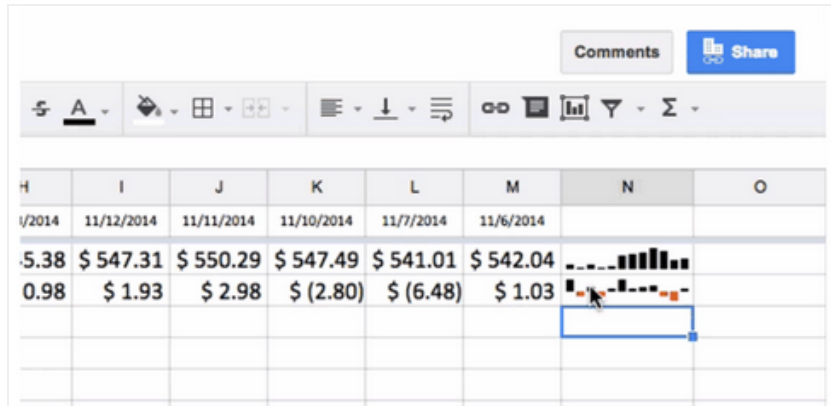


詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google スプレッドシートの新しいスパークライン オプション


リリース日: 2014 年 12 月 9 日  組織で共有

新機能: Google スプレッドシートの SPARKLINE 関数で 1 つのセル内に小さなグラフを作成することで、データトレンドがひとめでわかります。このリリースでは、既存の折れ線グラフと積み重ね棒グラフの他に、縦棒グラフと、正と負の 2 つの結果を表す縦棒グラフの 2 種類のスパークラインが追加されています。



使い方: SPARKLINE 関数の使い方について詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Gmail の新しい UI 言語: アイルランド語

リリース日: 2014 年 12 月 11 日  組織で共有

新機能: Gmail の UI をアイルランド語で表示できるようになりました。これは [72 番目の言語](#) です。


使い方: 言語設定は、[設定] の [表示言語] プルダウンで変更できます。



注: 送受信するメールの言語は、この表示言語の影響は受けません。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Gmail の添付ファイルとして Google ドライブ ファイルを共有

リリース日: 2014 年 12 月 15 日  組織で共有

新機能: 以前は、Gmail でメールを作成するときに、[ドライブを使ってファイルを挿入] ボタンをクリックし、リンクによって、Google ドライブに保存された Google ドキュメントなどのファイルを共有していました。

このリリースでは、ドライブのファイルを添付ファイルとして共有できるため、ファイルのオーナーは、ファイルへのアクセス権まで受信者から削除してしまうことを心配せずに、必要に応じてドライブからソースファイルを削除することが可能です。

使い方: [ドライブを使ってファイルを挿入] をクリックすると、挿入ウィンドウの右下にボタンが表示されます。[添付ファイル] ボタンをクリックすると、選択したファイルが添付ファイルとして追加されます。ドライブのリンクとしてのファイル挿入がデフォルトのオプションです。



注:

- この機能は、ドライブで作成されていないファイルにのみ適用されます (Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドなどは動作しません)。
- Gmail の添付ファイルのサイズ上限は 25 MB です。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Google ハングアウトのカスタム ステータス メッセージ

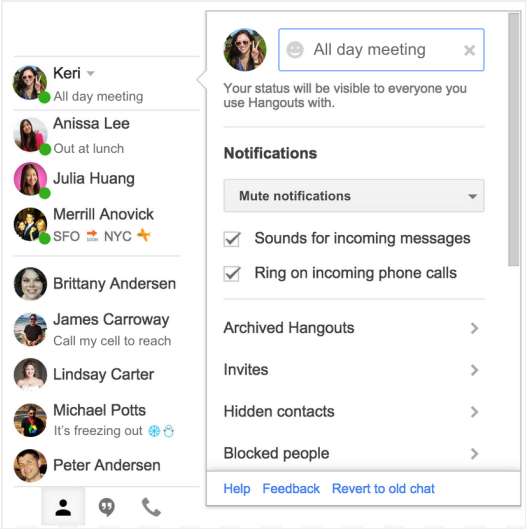
リリース日: 2014 年 12 月 17 日



新機能: ウェブ上の Google ハングアウト ユーザーがカスタム ステータス メッセージを追加したり、[連絡先] ビューで他の人のステータス メッセージを確認したりできます。

使い方: ステータス メッセージを追加するには、設定メニューを使用します。デフォルトでは、ステータス メッセージはドメイン外にも表示されますが、管理者が管理コンソール ([アプリ] > [Google Apps] > [トーク / ハングアウト] > [共有設定]) を使用して、ドメイン内にものみ表示されるよう制限することもできます。

注: ハングアウト ステータス メッセージは、ハングアウト ユーザーにのみ表示されます。Google トークを使用しているユーザーとは共有されません。同様に、Google トークで設定されたステータス メッセージは、ハングアウトでは共有されません。

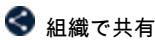


この機能は、Android および iOS のハングアウト アプリでもなく利用できます。

詳細については、[Google for Work に関する Google+ のお知らせ](#)および[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

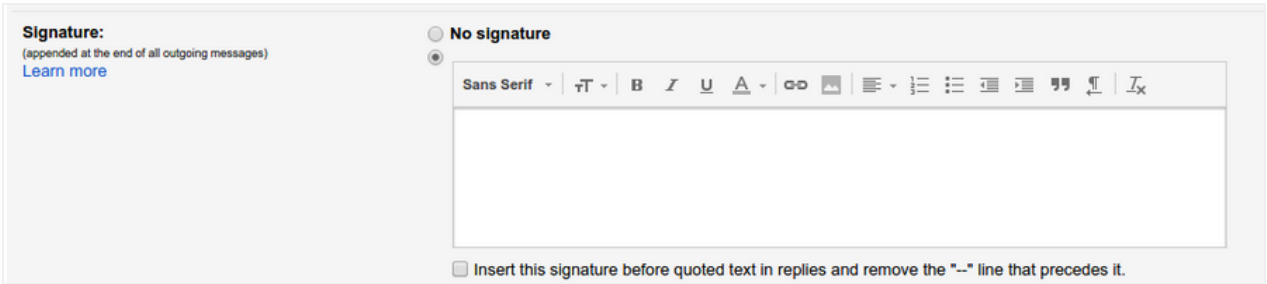
Google ドライブから Gmail 署名に画像を追加

リリース日: 2014 年 12 月 22 日



新機能: Google ドライブからの画像の選択および表示オプションを有効にすると、ウェブ上で画像を Gmail 署名にさらに簡単に追加できます。

使い方: Gmail で画像を追加するには、[設定] > [全般設定] を使用します。[署名] セクションで、署名テキスト ボックスの上にある [画像を挿入] アイコンをクリックし、Google ドライブから画像を追加します。



注: この機能が Gmail に表示されるようにするには、管理者が管理コンソール ([ドライブ] > [共有設定] > [共有オプション]) でドライブ ファイルの外部共有を有効にする必要があります。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

ビジネス対応

カレンダー API v3 の容量が 10 倍に

リリース日: 2014 年 12 月 4 日

新機能: カレンダー API v3 のデフォルトの容量が 10 倍になり、1 日 100 万件のリクエストを処理できます。つまり、アプリケーションは、追加容量を申請せずにこれまでの 10 倍のユーザーに対応することができます。

さらに空き容量が必要な場合は、[デベロッパー コンソール](#) ([API] -> [カレンダー API] -> [容量] -> [追加容量を申請]) で申請します。

できるだけ迅速に容量を受け取れるよう、容量処理のプロセスも効率化しました。

Calendar API	
OVERVIEW	USAGE
QUOTA	
Billing status	
This API is limited by the free quota shown below. Apply for higher quota	
Quota summary	
Daily (since 00:00 AM PST)	
FREE QUOTA	1,000,000 requests/day
REMAINING	1,000,000 requests/day 100% of total
PER USER LIMIT	5 requests/second/user
Change	

容量を効率よく処理するためのヒント

- ポーリングではなく[プッシュ通知](#)を使用する。
- ポーリングを避けられないときは、ポーリングは必要な場合にのみ行う (たとえば、夜間のポーリングは極めて稀)。
- すべてのエントリを繰り返し取得するのではなく、すべてのコレクションについて、同期トークンでの[増分同期](#)を使用する。
- maxResults パラメータを使用し、[ページサイズ](#)を増やして、瞬時にデータを取得する。
- 予定が変更された時点で、その予定を更新する。同期のたびにすべての予定が再作成されるのを避ける。
- エラー再試行のために指数関数的バックオフを使用する。

詳細については、[Google デベロッパー ブログの投稿](#)をご覧ください。

iOS 同期用の新しいレポート、ポリシーなど

リリース日: 2014 年 12 月 11 日

新機能: 今年初めに、iOS Sync for Google Apps と呼ばれる新しい iOS 携帯端末管理 (MDM) ソリューションを[リリース](#)しました。これにより、Google モバイルアプリと iOS のネイティブな端末管理機能が統合されます。

iOS 同期用にリリースされた新機能と強化機能を次に示します。

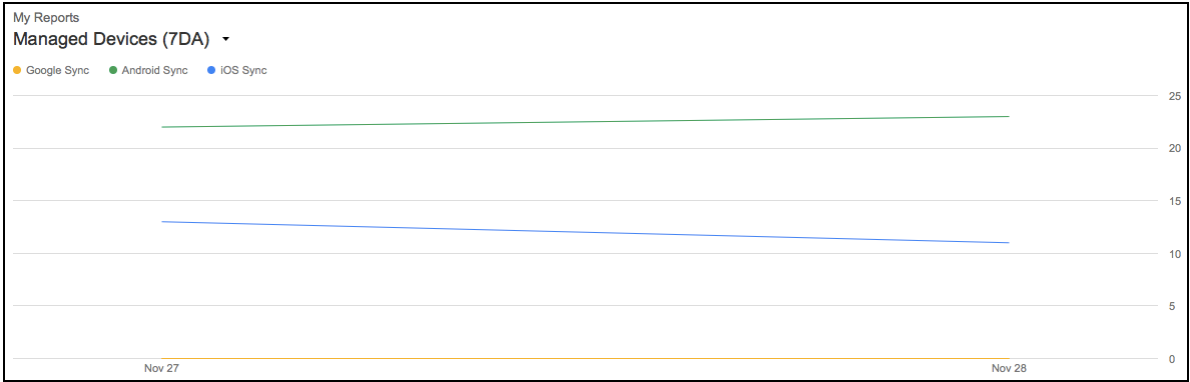
セキュリティ ポリシー

- バックアップ ポリシー
 - 暗号化されたバックアップが必要
 - ユーザーによる iCloud へのバックアップを許可
 - ユーザーによる iCloud へのドキュメントおよびキーや値のバックアップを許可
 - ユーザーによる iCloud へのキーチェーンのバックアップを許可
- ロック画面ポリシー
 - ユーザーによるロック画面への[コントロール センター](#)の表示を許可
 - ユーザーによるロック画面への通知の表示を許可
 - ユーザーによるロック画面への「今日」ビューの表示を許可

レポート

- 管理コンソール UI の更新されたレポート:
 - 管理対象デバイス (過去 7 日間または 30 日間のアクティブ数)
 - 管理対象ユーザー (過去 7 日間または 30 日間のアクティブ数)
 - 管理対象 Android デバイス (過去 7 日間または 30 日間のアクティブ数)

- 管理対象 iOS デバイス (過去 7 日間または 30 日間のアクティブ数)



- 新しいレポート機能:
 - 管理者が OS バージョンや同期タイプレポートでトレンドを確認する際に役立つ新しい折れ線グラフ
 - 新しい同期タイプの追加: iOS 同期
 - 新しいバージョンのレポートをサポート (iOS 8 など)
- デバイス情報の更新 (IMEI、OS バージョン、デバイスモデル、シリアル番号の追加)
 - 個別のデバイスの更新情報を表示するには、管理コンソールで [デバイス管理] > [モバイル] > [管理対象デバイス] を確認します。

使い方: 更新された 7 日間または 30 日間のアクティブ レポートには、管理コンソールの [レポート] > [集計レポート] > [マイレポート] プルダウンからアクセスします。デフォルトでは、3 つのレポートがプルダウンから選択できます。その他のレポートを選択リストに追加するには、[レポートを選択] > [モバイル] にアクセスします。

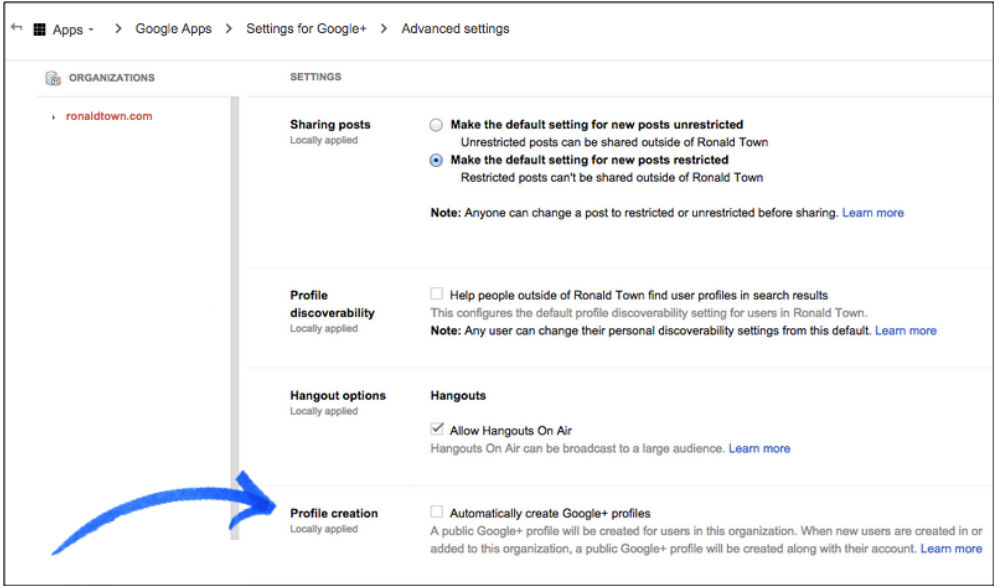
詳細については、[Google for Work に関する Google+ の投稿](#)および[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

組織部門用 Google+ プロフィールの管理プロビジョニング

リリース日: 2014 年 12 月 11 日

新機能: 先月 Google は、従業員同士の交流と組織内での共同作業および共有を促進する目的で、個人ユーザーに Google+ プロフィールを提供するための Google Apps 管理者向け機能を[リリース](#)しました。今回この機能がさらに拡張され、管理者は、組織部門全体で自動プロフィール アップグレードを実行することができるようになりました。

使い方: 組織部門のすべてのメンバーの Google+ プロフィールが自動的に作成されるようにするには、管理者が [アプリ] > [その他の Google サービス] > [Google+] > [共有設定] で、Google+ に対して有効になっている組織部門を選択し、[プロフィール作成] 設定のボックスをオンにするだけです。



組織部門のすべてのユーザーが 18 歳以上であること (および選択した組織部門に 18 歳未満のユーザーが追加されないこと) を確認すると、組織部門の既存 (および今後) のメンバーすべてについて Google+ プロフィールが自動的に作成されます。これらのメンバーには、管理者による操作の説明が記載された Google+ のウェルカムメールが届きます。

注

- このサービスの対象となるのは、プレミア、政府機関、高等教育機関向けの EDU ドメインのみです（高校以下の EDU ドメインは含まれません）。
- Picasa や一般公開のチャット写真を使用しているユーザーは、管理者によるアップグレードの対象ではありません。ユーザーが各自でプロフィールを作成する必要があります。

詳細については、[Google for Work に関する Google+ の投稿](#)およびヘルプセンター（[管理者](#) | [ユーザー](#)）をご覧ください。

Google Apps についての詳細

すべての Google Apps のお客様向け: 毎週水曜日午前 11 時 (太平洋標準時) に **Apps Show** を YouTube で公開しています。

 組織で共有

新機能: 12 月、Apps Show では、不動産業者 Keller Williams の Shannon Rose 氏が [最初の顧客事例](#) を発表し、どのように Google カレンダーと Gmail を使ってさまざまなクライアント アカウントを管理したかを紹介しました。最初の [Shortcuts](#) は 1 分間の動画で、ここでは Google 社員からの専門的なヒントも公開されています。いつものエピソードも続きます。
[こちらのエピソード](#) では変更管理について説明しています。



お知らせください: カスタマーや Google 社員による Apps の活用方法を、今後のエピソードでもっとご紹介していきたいと考えています。最新のエピソードに関するご意見、ご感想を含め、皆さまがどのようなエピソードをご覧になりたいかをお知らせいただければ幸いです。

[YouTube で Apps Show の再生リストをブックマークに登録](#)

Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画

 組織で共有



新機能: 人気の高い「Google Apps の新機能」ウェブセミナーシリーズの形式を、日時指定のライブ セッションから録画 (YouTube でホスト) に変更し、名称も変更しました。このセミナー シリーズは、いつでも都合のよいときにご覧になれます。また、共有することもできます。

使い方: 「Google Apps 管理者向けの最新情報」動画では、前月にリリースした、Google Apps 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介します。

[YouTube で再生リスト](#) をブックマークに登録し、新しい録画がないか毎月ご確認ください。「新機能」サイトの [アーカイブ](#) ですべての録画をご覧いただけます。

ニュースレターをお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けできるよう、[ご意見](#)をお聞かせください。